

太宰府市俳句ポスト第九十七回入選者

(平成二十九年十一月七日〜平成三十年二月六日)

選者 池田 昭雄

入選句

池狭くとも睦まじき鴨の群

(春日市)

永利 五十鈴

電車待つ宰府吟行著ぶくれて

(福岡市)

大水 敏子

七種の全部揃はず母の粥

(太宰府市)

坂本 緩奈

息切れの切なき坂や老の冬

(福岡市)

榊 よし子

元日や先づは畑を一回り

(宗像市)

大和 美由紀

晩学の余生に句あり菊花展

(筑紫野市)

横山 美恵子

手相見の良き事ばかり初天神

(太宰府市)

瀧田 緑

俄杖ついて吟行冬木立

(福岡市)

牧野 鏡子

子ら集ふ屠蘇酌む夫もにこやかに

(太宰府市)

吉塚 昌世

参道のにぎはひよそに山眠る

(福岡市)

木村 順子

菅公も愛でしこの杜冬紅葉

(福岡市)

田中 勝子

母子像のお供へけふはクリスマス

(太宰府市)

吉田 秀子

奥茶屋の破璃戸のくもる寒さかな

(福岡市)

河野 京子

制服の園児等去りぬ冬すみれ

(太宰府市)

岩崎 ミヨ子

句を知りて苦あり楽あり木の葉髪

(太宰府市)

木村 順子

北風がお宮まいりにさそつたよ

(福岡市)

坂口 成太郎 八才

雪がふりキラキラひかる神社かな

(福岡市)

城戸 悠那 十一才

冬休てんでんつけてふゆやすみ

(福岡市)

宇野 皓成 十三才

太宰府の冬の行列うつくしき

(鳥栖市)

片渕 日菜子 十五才

九博も芸術の秋桃山展

(糟屋郡)

勝木 愛梨 十五才